

平成 25 年 11 月 18 日

[LP ガス]熊本県内でガス漏えい事故(死亡 1 名)が発生しました

平成 25 年 11 月 16 日(土)に熊本県内の集合団地内の町道でガス漏えい事故(死亡 1 名)が発生した旨の報告がありました。

1. 事故の概要

平成 25 年 11 月 16 日(土)午前 9 時 48 分頃に熊本県内の集合団地内の町道でガス漏えい事故が発生した旨、高圧ガス保安法に基づき、同日、同集合団地に液化石油ガスを販売している事業者(株式会社源商店)から熊本県を通じて九州産業保安監督部に報告がありました。事故の詳しい状況は以下のとおりです。

また、同様の情報を本日、産業保安のホームページに掲載しますので併せてお知らせします。

【掲載箇所】

http://www.meti.go.jp/policy/safety_security/industrial_safety/sangyo/citygas/detail/gas_accident.html

事業形態:液化石油ガス販売事業

ガス種:液化石油ガス(LP ガス)

事故発生日時:平成 25 年 11 月 16 日(土)午前 9 時 48 分頃

事故発生場所:熊本県

被害状況:人的被害:死亡 1 名

物的被害:埋設供給管の破損

事故概要:集合団地内の町道で埋設供給管の取替え工事中、土木作業員 1 名が死亡するガス漏えい事故が発生しました。原因は、土木作業員が重機で供給管を破損したことによりガスが漏えいし、当該作業員が漏えいを止めようとしたところ、ガスを吸入し酸欠となったものと推定されますが、現在詳細調査中です。

機器分類:供給管(埋設部)

(参考情報) 製造者:JFE スチール株式会社

型式:プラスチック被覆鋼管

製造年:1981 年 7 月

2. 注意喚起について

○ガスの臭いを感じたら、直ちに緊急連絡先(液化石油ガス販売事業者又は保安機関)へ連絡してください。

- ・ 使用中の火気は全部消してください。
- ・ 火気は絶対に使用しないでください。
- ・ 着火源となる換気扇、電灯等のスイッチに絶対手を触れないでください。
- ・ 窓や戸を大きく開けましょう。
- ・ ガス栓やメーターガス栓を閉めましょう。
- ・ 液化石油ガスは本来臭いがありませんが、ガスが漏れた時にすぐに気づくように、付臭してあります。

○埋設供給管の修理等で掘削工事を行う場合は、以下の対応を行ってください。

- ・ ガスの供給を停止してください。
- ・ 掘削した穴のガス濃度を測定し、作業の安全確認を行ってください。
- ・ 1人では掘削工事を行わないでください。

○当省 HP にガス事故防止のための様々なパンフレット等を掲載しています。是非御覧ください。

http://www.meti.go.jp/policy/safety_security/industrial_safety/sangyo/lpgas/detail/lpghoansyuuchi.html

(本発表資料のお問い合わせ先)

商務流通保安グループ ガス安全室長 大本

担当者:鈴木

電話:03-3501-1511(内線 4931~7)

03-3501-1672(直通)